|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 知識アイコン技能アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　6.7km/s⑵　解説参考⑶　23秒⑷　震度はある1つの地震による，ある地点での地面のゆれの大きさを示し，マグニチュードはある1つの地震の規模を示す⑸　による災害，土砂くずれによる災害 | １ | ⑴　100km伝わるのに15秒かかっている。　発生時刻（15時10分05秒）　震源からのが100kmの地点がゆれ始めた時刻（15時10分20秒）地震波Ａの速さ　100〔km〕÷15〔s〕＝6.66…≒6.7〔km/s〕である。⑵　地震波AがP波（を伝える波）地震波BがS波（主要動を伝える波）初期微動時間　P波が到着してからS波が到着するまでの時間⑶　初期微動継続時間は，震源からの距離に比例する。100kmで15秒なので，150kmでは約23秒になる。　　100：15＝150：Ｘ　（式は他にもある）　　100Ｘ＝15×150　　Ｘ＝22.5⑷　・震度　地震によるゆれの大きさで0～7までの10階級で表す。・マグニチュード　地震のエネルギーの大きさ（地震の規模）を表す。1つの地震に対してマグニチュードは1つであるのに対し，震度は観測地点によって異なる（震度は震央に近いほど大きくなることが多い）。⑸　他にも液状化現象による災害，火災による災害，などがある。 |
| ２ | 技能アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　解説参考⑵　大陸プレート：北アメリカ（北米）プレート，海洋プレート：太平洋プレート⑶　日本付近では，海洋プレートが大陸プレートの下に沈みこむことで，大陸プレートがゆがみにえられなくなったときにや反発が起こり，地震が起こるから | ２ | 日本付近では，太平洋プレート（海洋プレート）が北アメリカ（北米）プレート（大陸プレート）の下にみこんでおり，プレートの境目で大地震が発生しやすい。 |